

\*鹿山会は、皆さまの会費を原資に運営されています。活動の充実に向け、会費納入にご理解とご協力をお願いいたします。\*

- (1) 長嶋茂雄さんを悼む 鹿山会会長 村山秀明
- (2) 鹿山会報「各支部・OB会・同期会だより」への寄稿ご案内
- (3) 8月鹿山文庫講演会の申込要領
- (4) 千葉県県立学校チャレンジ応援基金事業の計画期間延長
- (5) 投稿 明治44年の皇太子の佐倉行啓 林 義之(昭42年卒)



### (1) 長嶋茂雄さんを悼む

長嶋茂雄巨人軍終身名誉監督の突然の訃報に接し、母校千葉県立佐倉高等学校の3万人を超える卒業生、在校生一同、深い悲しみに包まれています。

昭和29年3月に母校を卒業された長嶋さんは、私の12年先輩に当たります。デビュー戦の4打席連続三振、天覧試合のサヨナラホームラン、フルスイング、全力疾走、躍動感あふれるスローイング、全てが脳裏に鮮明に残っています。

また、昭和49年の引退試合、スポットライトに浮かび上がる姿、巨人軍は永久に不滅ですと絞り出した言葉に胸を熱くした日が、昨日のこのように蘇ります。

令和元年、佐倉高校の県立移管120周年記念式典に際しては、「佐倉高時代に放った一本のホームランが私の人生を決めた。」と、高校野球の思い出を添えたメッセージを寄せてくださいました。

その飾らないお人柄から、野球ファンのみならず日本国中で愛され、親しまれた長嶋さんは、これからも永久に母校の誇りであり続けます。どうぞ安らかにお眠りください。

\* 政府により、6月3日に89歳でご逝去されたプロ野球・読売巨人軍終身名誉監督の長嶋茂雄さんに「従三位」が贈られました。

### (2) 令和7年度鹿山会報第21号「各支部・OB会・同期会だより」への寄稿ご案内

\* 評議会団体でなくとも寄稿できます。メールでご相談ください。

鹿山会の運営にご理解ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

鹿山会本部では、本年10月20日に「鹿山会報」第21号を発行する予定です。ご多用のところ誠に恐縮ですが、下記により貴会の活動状況等につきましてご寄稿くださいますようお願い申し上げます。

なお、メッセージや抱負、今後の計画等特に内容は問いませんので、よろしくようお願い申し上げます。

#### 記

1 記載内容 貴会の近況報告、メッセージや抱負、今後の計画等、特に掲載内容は問いません

- ① 会名(支部名・OB会名・同期会名)
- ② 本文 近況報告、メッセージや抱負、今後の計画等
- ③ 会報記事に掲載する方の会の役職、氏名、卒年

\* 会長、幹事、事務局、執筆者等各団体様々です。これまでの会報を参照ください。

④ 連絡先 執筆者の氏名 メールアドレス 電話番号

⑤ ホームページを開設している場合はアドレス、検索ワードをご記入ください。

会報や鹿山会ホームページ等で、できる限り紹介いたします。

2 文字数等 本文概ね200文字程度

\* 掲載者情報、HPアドレス、検索キーワード、E-mail、画像分及びキャプションは文字数に含みません。

(特に様式等は定めておりません。また、全文の掲載をお約束するものではありません。)

①文章はワープロ(ワード。一太郎不可)、直筆を問いません。原稿の様式指定はありません。

\*投稿数や編集上の都合により、一部削除や部分リライトさせていただく場合があります。この場合、貴会の確認を得ることなく、広報委員会で進めさせていただきます。誠に申し訳ございませんが、編集作業ご推察の上、予めご了承くださいるようお願いいたします。

②画像掲載希望の場合、プリントでも対応できます。サイズは問いません。(小さくても可)

\*編集上の都合によりトリミングいたします。画像等掲載をお約束するものではありません。

\*団体HP トップページ等々写真以外の画像でも掲載可能です。キャプションもお願いします。

③可能な限りワードファイル、画像ファイルのメール送信をお願いします。

### 3 締め切り **令和7年8月8日(金)必着でお願いいたします。**

**重要** 本依頼文書は、各団体に1通の送付とさせていただいておりますが、必ずしも会長等代表者や執筆担当の方に送付されているとは限りません。本依頼文書を受領されました方が執筆担当ではない場合は、その旨執筆担当等にご連絡等をお願いいたします。

\*鹿山会ホームページ・トピックスで、同様の依頼内容を7月上旬目途に掲載する予定です。

4 送付先 Eメール又は同封の封筒による返信をお願いします。\*可能な限りメールでお願いいたします。

\*同封の返信用封筒によらない郵送の場合には、恐縮ですが送信者様の費用ご負担によりお願いいたします。

〒285-0039 千葉県佐倉市野狐台111 大野直道 (S45年卒)

大野直道 [naomichi.ohno@catv296.ne.jp](mailto:naomichi.ohno@catv296.ne.jp) ☎043-484-0745 (ナンバーディスプレイ機能なし)

なお、通信の確実を期すため、CC.により西尾副会長(昭56年卒)への送信を合わせてお願いいたします。

西尾 匡道 [m.nsho2@chiba-c.ed.jp](mailto:m.nsho2@chiba-c.ed.jp)

\*郵便料金値上げに伴う経費節減や編集関係事務の効率化のため、来年度第22号から、執筆依頼はメールによる通知のみでよい場合には、本年度第21号の原稿送付等の返信時に「郵送案内不要」との記載をお願いいたします。ご理解、ご協力いただけますようお願い申し上げます。

### (3) 8月鹿山文庫講演会～応募要領～

鹿山会会員の学びの場であり、母校との地域貢献・共催事業である鹿山文庫講演会を開催いたします。

日時：8月8日(金)午後2時～(午後1時30分受付開始)

場所：佐倉高校地域交流施設

定員：約60名(先着順)

演題：佐倉藩の知られざる海上砲術家・田辺重則 ～幕府海軍と藩の狭間で～

講師：東京大学史料編纂所

助教 水上 たかね氏

オランダ・ライデン大学に客員研究員として約2年滞在、日本の幕末・維新史について研究

概要：佐倉高校が所蔵する「鹿山文庫」には、幕府海軍由来の蘭書が二点含まれる。これらを佐倉藩へと繋いだのが、藩士の三男として生まれた田辺十三郎重則(1835～67)である。彼は同藩の木村軍太郎に洋学を学び、幕府の軍艦操練所に入学すると、幕府海軍士官に登用された。海上砲術を専門とし、佐倉藩士の身分のまま幕府海軍で活躍したが、藩でも幕府でも正規構成員としての待遇を得られないまま、明治維新を目前に自害する。

\*藩校蔵書「鹿山文庫」には、軍艦操練所や神戸海軍操練所から十三郎へ渡されたオランダ語の書物が残る

◎申込み方法

\*市外・県外の方、佐倉高卒業生以外の方も参加いただけます。



葉書のみでの受付になります。

定員：約 60 名(先着順) \*葉書による受付を開始しています

①住所②氏名③電話番号 \*①～③は必須

④参加者数(本人を含む) \*複数人で参加する場合、その人数を記載

〒285-0033 佐倉市鍋山町 18 佐倉高校「鹿山文庫講演会」担当

\*高校事務室での受付事務になります。葉書での受付に限定させていただきます。

学校事務のご迷惑になりかねませんので、電話、Fax、メールでは受付いたしかねます。ご理解、ご協力をお願いいたします。

佐倉市広報「こうほう佐倉 7 月 1 日号・情報のひろば覧」にも応募要領が掲載されています。

広報は佐倉市 hp でご覧いただけます。後日、鹿山会 hp でもご案内いたします。

◎駐車場が限られていますので、車でのご来場はお控えいただけますようお願い申し上げます

#### (4)千葉県県立学校チャレンジ応援基金 の計画期間延長

\*佐倉高に関わりがなくとも寄附が可能です。また千葉県条例ですが、県外の皆さまからもご寄附が可能です。\*在校生及びその保護者の寄附は受けられないなどの規定があります。

千葉県によるこの応援基金は、卒業生や地域住民、企業など、様々な方からご寄附を募り、それを基金に積立て、千葉県立高校が策定する「教育活動の充実プラン」「地域交流・地域貢献プラン」に充当することにより、各高校のプランの実現を図ろうとするものです。

佐倉高も、寄附募集期間を令和 7 年 3 月とする 3 つのプランを策定していますが、目標額に達していないことから、募集期間を令和 9 年 3 月まで延長されました。

千葉県 hp によりますと、令和 6 年度には「平成 24 年卒佐倉高等学校卒業生有志」他の皆様からの寄附が寄せられています。今後とも、事業計画達成に向けて皆様からのご寄附を賜りたく、よろしく願いいたします。

～このプラン実現に向けて、ご支援、ご協力をお願いいたします。～

○税法上の優遇措置があります。

・個人の場合：ふるさと納税ワンストップ特例制度や確定申告により、住民税等の寄附金控除を受けることができます。

・企業の場合：寄附金額を損金算入することができます。

○寄附いただけない方

・在校生及びその保護者の寄附は受けられません。

・PTA 及びそれに類する団体の寄附は受けられません。

\*詳しくは「千葉県県立学校チャレンジ応援基金」検索でご確認ください。

\*佐倉高 hp・寄附からもご確認できます。

\*佐倉高事務室までお問い合わせください。寄附申出書も用意されています。

□ 電話 043-484-1021 ファックス 043-486-0903

\*千葉県事業であり、鹿山会では対応致しかねます。高校事務室までお問い合わせください。ご了承願います。

#### 佐倉高が策定したプランの名称・目的・概要・寄附募集額・募集期間

□教育活動の充実プラン

①学習環境整備

【目的】教室に縛られない学習環境の整備

【概要】モニター等購入、Wi-Fi 環境整備（体育館、特別教室棟、記念館）

【寄附募集額】950万円 \*令和 7 年 4 月 30 日現在の達成率：34.1%

【寄附募集期間】令和 9 年 3 月

## ②生徒の探究学習、海外研修等への援助

【目的】探究学習の質的向上

【概要】大学教員や企業研究者による講義、研究施設訪問のためのバス借上、千葉大留学生による語学指導学

【寄附募集額】100万円 \*令和7年4月30日現在の達成率：30.1%

【寄附募集期間】令和9年3月

## □地域交流・地域貢献プラン

## ③佐倉高等学校地域貢献・東郷池整備への支援

【目的】歴史財産の整備

【概要】学校の歴史的シンボルである旧佐倉藩主堀田正倫公が寄附した「記念館」の前庭にある東郷池の整備（循環設備・浄化槽・排水設備・井戸を整備し、池の水を綺麗にする）

【寄附募集額】140万円 \*令和7年4月30日現在の達成率：24.2%

【寄附募集期間】令和9年3月

**(5)投稿** 2025年7月10日

## 明治44年の皇太子の佐倉行啓

林 義之（昭和42年卒）

明治44年（1911）5月21日、皇太子嘉仁親王（後の大正天皇）は佐倉を行啓した。行啓先は歩兵第57連隊・県立佐倉中学校（現県立佐倉高等学校）・堀田家農事試験場であり、堀田伯爵邸で昼食をとり、午後からは佐原を訪れた。行啓の背景・日記・行啓先の現状などについて調べました。

### （行啓の背景と概要）

日露戦争（明治37～38年）後、政府は町村強化のため国民に勤労・倹約・産業を奨励する地方改良運動を推進した。この運動の視察・地理歴史の見学などのため全国的な地方行啓を計画し、その一環で明治44年5月19日から24日まで6日間県内を巡覧した。

千葉県では5月5日にルネサンス様式の県庁舎の落成祝賀開庁式が挙行され、千葉県教育品・地方資料展覧会及び千葉県共進会が開催された。皇太子は、県庁舎を御泊所として鉄道で、19日千葉、20日八日市場・銚子、21日佐倉・佐原、22日四街道・習志野、23日成東・千葉、24日市川・松戸と、連日、県立学校や軍の施設などを視察した。



千葉県庁舎の絵葉書  
（県立中央博物館デジタルアーカイブより）

### （5月21日の日記） 日曜日 曇

午前7時45分旅館（県庁舎）を出門、8時00分千葉駅発車、8時22分に佐倉駅着、歩兵第57連隊に到着し、将校集会所の貴賓室で竹迫弥彦連隊長から連隊の沿革及び現状について報告を受け、その後、練兵場に出て御野立所で中隊対抗戦闘教練を御覧になった。

10時15分県立佐倉中学校に到着、山内佐太郎校長などと対面、兵式体操・地理教室・成績品陳列室・唱歌教室を巡覧し、佐倉在住の文武諸官などと対面、10時40分に同校を出た。

10時50分堀田正恒伯爵邸に着き、御座所（御座敷上の間）に入り休憩の後、堀田正恒伯爵と和子夫人（正倫の二女）、堀田正倫未亡人（伴子）、万里小路通房伯爵（伴子の実父）と対面、内廊下に陳列した宝

物を一覽し、庭園に出て堀田家農事試験場を巡覽後、御座所で昼食をとった。午後1時15分、同邸を出発し、佐倉駅を1時45分に発車した。

午後2時53分佐原駅着、人力車で香取郡立高等女学校（現県立佐原白楊高等学校）に臨み、田中寿治校長の案内で唱歌教室・作法教室を巡覽後、同校を出た。3時28分県立佐原中学校（現県立佐原高等学校）に着き、海塩錦衛校長などと対面後、英語教室・地文教室・体操・成績品陳列室を巡覽後、佐原在住の文武諸官などと対面、3時50分に同校を出た。

4時05分香取神宮に到着、直ちに香取総齋宮司の先導で参拝、香雲閣で休憩し撃劍（剣術の試合）を御覽になり、鳥居外より人力車に乗り5時35分佐原駅着、直ちに発車し7時07分千葉駅着、7時35分旅館に還った。

### （行啓先の現状等）

**歩兵第57連隊**の兵営跡には、国立歴史民俗博物館が昭和58年（1983）3月にオープンした。練兵場跡は、佐倉城址公園の駐車場や自由広場などになっており、「皇太子殿下御野立所」の記念碑が大正5年（1916）5月21日に建立されている。

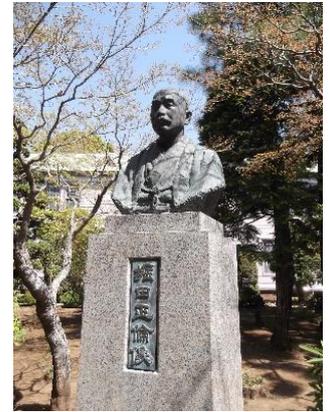
**旧県立佐倉中学校本館**は、堀田正倫伯爵が校舎建築費及び校地購入費4万2,000円を県に寄附し、明治43年（1910）11月10日に落成式が挙行された。2階建て木造校舎で、明治後期の洋風学校建築の特徴をよく留めており、平成17年（2005）に国登録有形文化財「県立佐倉高等学校記念館」として登録された。

**旧堀田邸**は、明治23年（1890）に竣工した堀田正倫伯爵の邸宅で、現在は主屋5棟（玄関棟・座敷棟・居間棟・書斎棟・湯殿）や門番所、土蔵などの建物と庭園が残されている。湯殿は明治43年（1910）3月に増築された。行啓時には座敷棟の上ノ間（客座敷）を御座所とし、畳の上に絨毯を敷きテーブルとイスを置いた。建物は「旧堀田家住宅」として平成18年（2006）に国の重要文化財に指定され、庭園は「旧堀田正倫庭園」として平成27年（2015）に国の名勝に指定された。

**堀田家農事試験場**は堀田正倫伯爵邸の周辺に明治30年（1897）3月に開場した明治時代の千葉県を代表する農業研究機関で、米・麦の試作を重点としたほか、養鶏の改良を図った。その後、県立農事試験場が作られ、その任務を終え、大正15年（1926）3月に閉場した。跡地には昭和63年（1988）年5月有料老人ホーム「佐倉ゆうゆうの里」がオープンした。



佐倉高校記念館



堀田正倫公像  
（佐倉高校内）

### （参考文献）

『行啓録 05 明治44年』（1911）、『大正天皇実録 卷45』昭和12年（1937）宮内公文書館所蔵  
千葉県文書館・宮内公文書館共催展解説図録『皇室がふれた千葉×千葉がふれた皇室』平成27（2015）

## 投稿をお待ちしています

会員皆様からの投稿をお待ちしています。ホームページや会報で紹介したいと思います。

テーマや文字数、画像の有無は問いません（営業、政治、宗教活動等につきましては、掲載いたしかねます）。ご自身のこと、学習成果の発表、部活OB会、同期有志の会、クラス会、趣味の会、団体活動の立ち上げや参加者募集等、幅広く募集します。掲載時期は不定期です。\*掲載する場合は、広報担当により調整させていただきます。

□記載必須事項 \*原稿：ワード

1. プロフィール等：氏名・卒年
2. 原稿：①タイトル②本文③必要に応じ画像等
3. 連絡先 住所、メールアドレス

担当：鹿山会広報担当 大野直道・S45年卒 E-mail naomichi.ohno@catv296.ne.jp